

# 地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、各自治体では、地域の特性・実情に応じた地域包括ケアシステム構築へ向けた取組みが進められています。

厚生労働省においても、各自治体における取組事例を全国で共有して、取組みを推進することを目的に、全国の自治体の協力を仰ぎ、先駆的な取組事例をとりまとめているところです。（今年度の調査研究で有識者に参画いただき、とりまとめていく予定）

収集した事例については、今後厚生労働省HP等で掲載していく予定ですが、この度、収集した事例（地域包括ケア全般にわたるものの他、医療・介護・予防・生活支援・住まいなど、特色ある分野の取組を中心とした事例）の中から、各自治体の参考になると考えられるいくつかの取組事例をとりまとめましたので、ご紹介いたします。

市区町村	都道府県	取組の概要	目次
世田谷区	東京都	都市部での医療・介護・予防・生活支援・住まいの一体的な提供に関する取組	3
長岡市	新潟県	小地域での医療・介護・予防・生活支援・住まいの一体的な提供に関する取組	7
南部町	鳥取県	既存資源を活用した共同住宅による低所得者の住まいの確保	11
柏市	千葉県	行政と医師会の協働による在宅医療の推進と医療介護連携	15
四日市市	三重県	社会福祉法人と地域組織の協働による日常生活支援体制の構築	19
竹田市	大分県	介護保険外のサービスの開発とそれを活用した介護予防と自立生活支援	23
上天草市	熊本県	離島における在宅生活の基盤づくり	27
川越市	埼玉県	認知症施策と家族支援	31
大和村	鹿児島県	住民が自ら考える互助の地域づくり	35
境港市・米子市	鳥取県	特養等の施設機能を地域に展開	39

# 地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例 ～東京都世田谷区の取組～

都市部の世田谷らしい  
地域包括ケアシステムの構築

# ～自治体の概要～

## 東京都世田谷区

### ●地域概況

東京23区西部に位置し、人口規模は23区中最大。都内有数の住宅地であるとともに、大規模な都市公園や商業地、私立学校等を有す。

区では、区民主体のまちづくりや地域活動団体・NPO・事業者等との協働を推進しており、住民主体の地域活動が活発に行われている。

●人口 866,063人

●高齢化率

65歳以上 19.29%

75歳以上 9.77%



世田谷区の位置

世田谷区の地域図



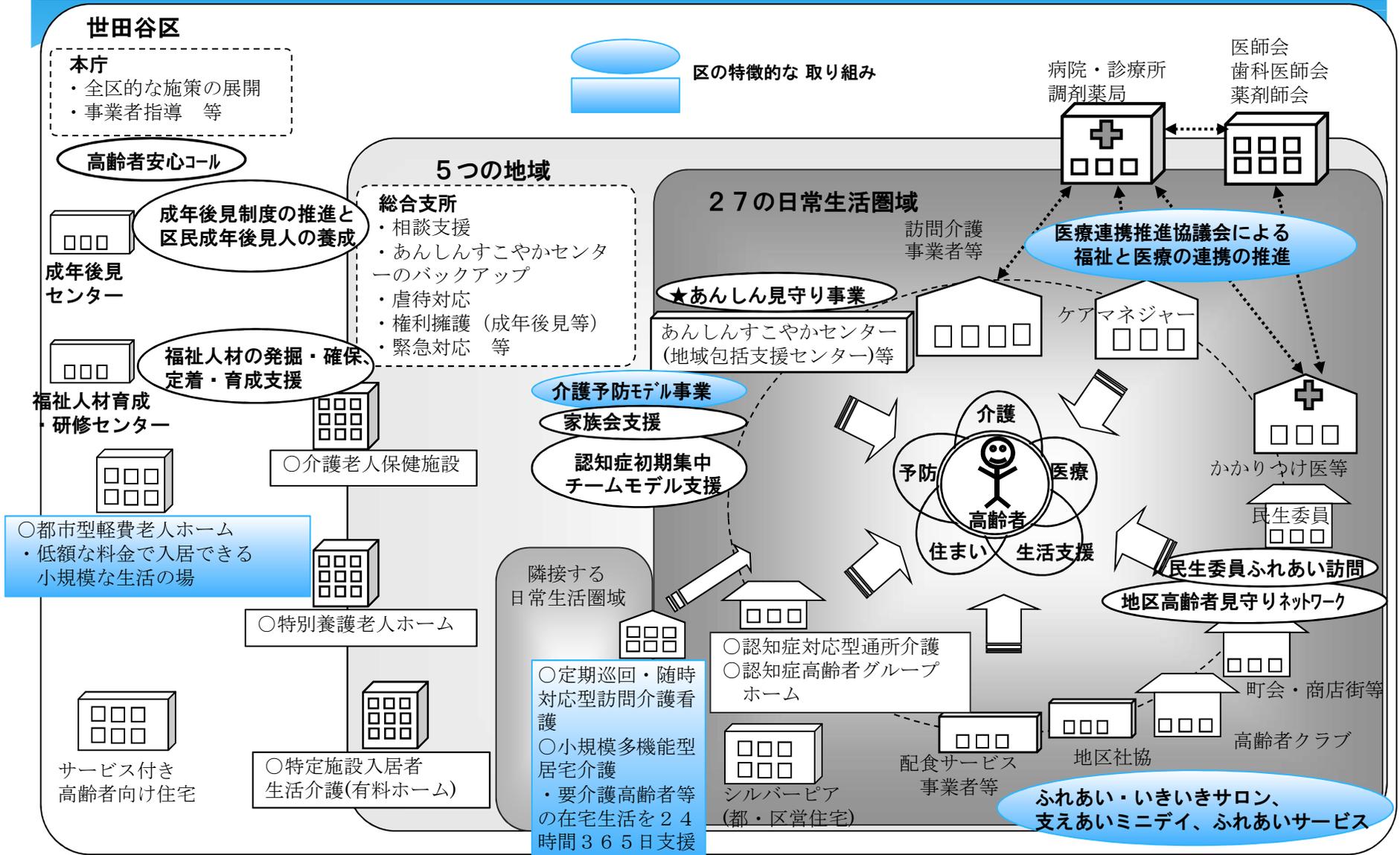
区民の土地を一般に開放した市民緑地(北烏山九丁目屋敷林)



©世田谷トラストまちづくり

私有の建物等を活用した地域活動と交流の拠点マップ【地域共生のいえ】

# 世田谷区の地域包括ケアシステムのイメージ図



○地域の豊富な資源やネットワークを区として最大限活用して、区内5地域（世田谷・北沢・玉川・砧・烏山）・27の日常生活圏域を基本としつつ、区全体で地域包括ケアシステムを構築

# ～取組の概要～ 第5期事業計画より開始

## 取組の経緯

(背景・地域の課題)

- 区独自に全高齢者実態把握調査を実施。その中で一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の合計が約半数を超えている実態が明らかに
- 第4期介護保険事業計画での課題を抽出
- 第5期介護保険事業計画の策定に向けたパブリックコメントで、身近な地域での健康づくりや介護予防の重要性等について、住民からの多くの意見

(取組のポイント)

- 地域包括ケアシステムの5つの要素をバランスよく取込んだ特徴的な取組み
  - ①医療 ⇒世田谷区医療連携推進協議会による在宅医療推進の取組
  - ②介護 ⇒定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用・事業展開の推進
  - ③予防 ⇒社会参加を通じた介護予防による高齢者の居場所と出番の創出
  - ④住まい⇒認知症高齢者GHや社会資源等を有効活用した都市型軽費老人ホーム等の整備
  - ⑤生活支援⇒住民団体・社会福祉協議会主体の地域活動の推進 …等
- NPO・事業者・大学・行政等約70団体が連携・協力して、高齢者の社会参加の場や機会づくり、応援を行う「せたがや生涯現役ネットワーク」を作るなど、社会参加を促進



# 世田谷区の特徴的な取組

分野

取組の背景

取組のポイント

医療

在宅医療の充実に向けた連携体制づくり

- 連絡会等による福祉と医療の顔のみえる関係づくり
  - ケアマネタイムや医療と介護の連携シートによる福祉と医療の情報の共有化
- などの取組を、医療関係者やケアマネジャー等で構成する**世田谷区医療連携推進協議会**を中心に推進

介護

安心できる高齢者の在宅生活の実現

- モデル事業実施の実績を活かし、**定期巡回・随時対応型訪問介護看護を平成24年4月から区内全域で提供できる体制を確保し、計画的に整備を推進**
- 新サービスの普及に向け、利用者や介護事業者等へパンフレットや事例集を配布

予防

高齢者の居場所と出番の創出（モデル事業による新たな介護予防の取組）

- 地域包括支援センターによる**社会資源を活用した高齢者の居場所づくり**（喫茶店・大学等の活用）
- 中高年層ボランティアの活動促進（買い物支援等）
- リハ職等専門職による訪問で生活機能低下に対応（環境調整、動作指導等）

住まい

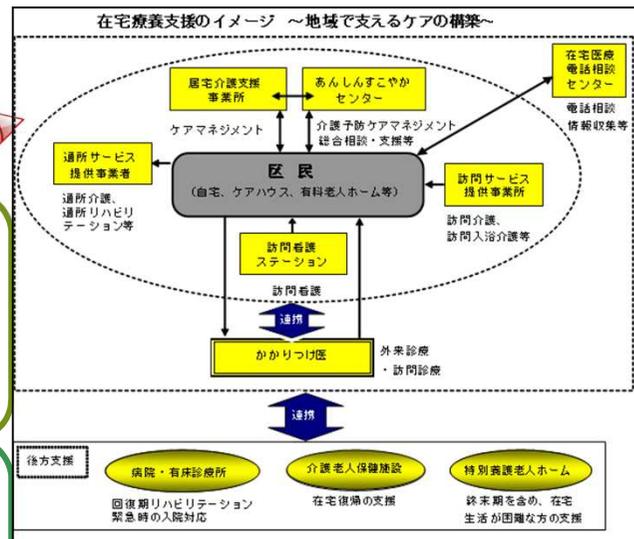
社会資源の有効活用による低所得高齢者等の居住の場の確保

- 区立高齢者センターを民営化**し、デイサービス・ショートステイに併設した**都市型軽費老人ホームをオープン**（H25.8月開設予定）
- 都営住宅建替え跡地に整備される特養への都市型軽費老人ホームの併設

生活支援

公的サービス以外の地域活動・資源の活用

- 地域資源（空き家・空き部屋等）をうまく活用した地域活動（サロンやミニデイ等）の拠点整備**
- 社協主体の生活支援サービス事業の提供（ふれあいサービス事業）**や住民ボランティアの立ち上げ・運営支援



医療と福祉の連携に向けた体制イメージ

福祉施設の送迎車両の遊休時間帯を利用した買物ツアー



ボランティアが添乗



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のパンフレット

ふれあいサービス事業の実績（H24年）

- 協力会員：634名
- 利用会員：1,241名
- サービス利用時間：39,055時間



◎茶論ONECOINE

オーナーが自宅の車庫を改修して、住民の地域活動と交流の場として提供（一財）世田谷トラストまちづくり <地域共生のいえ>

# 地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例 ～新潟県長岡市の取組～

小地域での医療・介護・予防・生活支援・  
住まいの一体的な提供に関する取組

# ～自治体の概要～

## 新潟県長岡市

### ●地域概況

新潟県の中央部に位置し、信濃川が市内中央に流れる国内有数の豪雪地帯。平成の大合併の結果、守門岳から日本海まで広大な市域を有するようになった。

コシヒカリを始めとする農業や日本海側の漁業のほか、機械金属関連産業が基幹産業となっている。

●人口 281,100人

### ●高齢化率

65歳以上 26.4%

75歳以上 14.4%



コシヒカリ

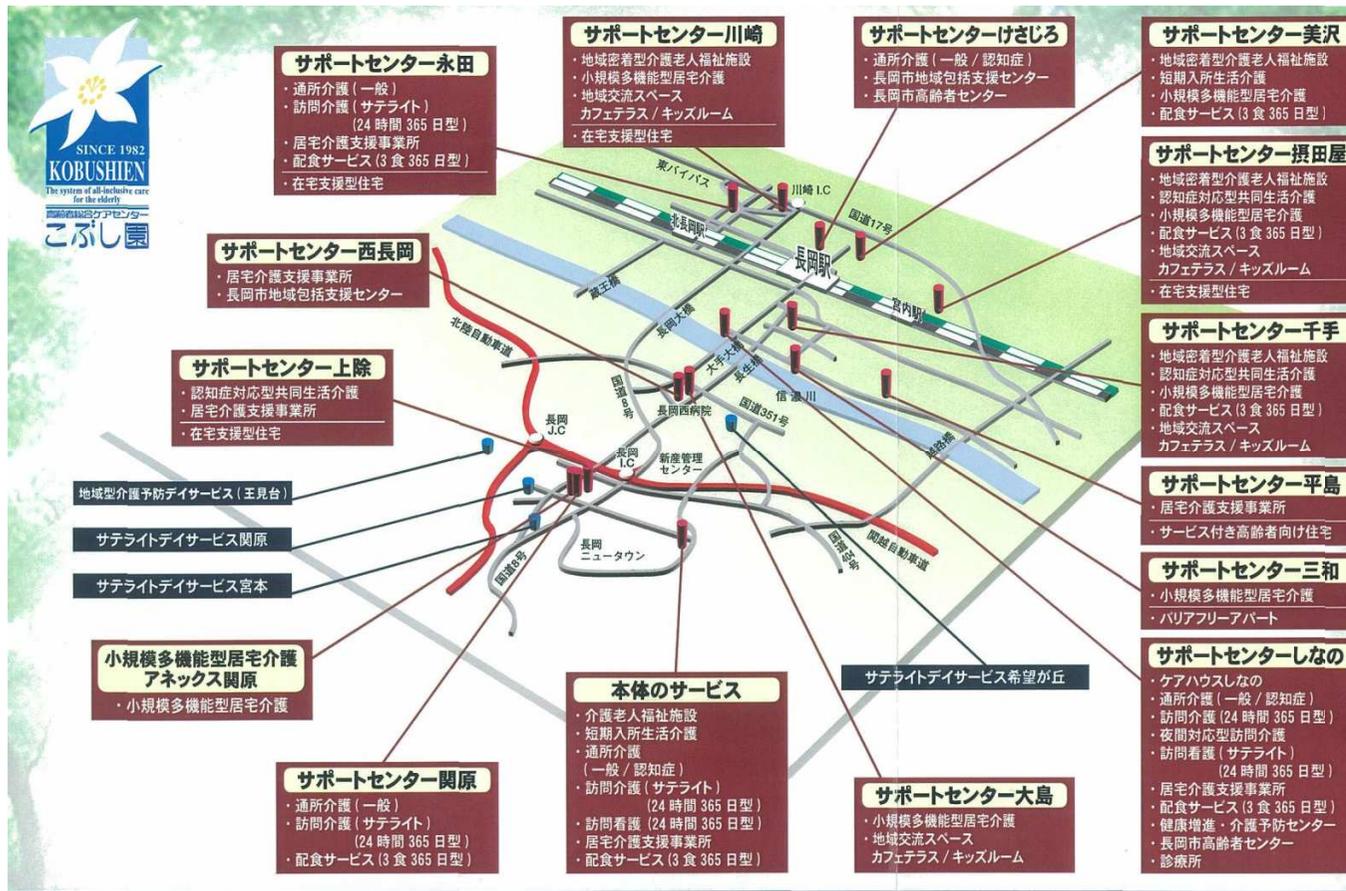


長岡まつりの大花火大会

# 地域包括ケアシステムをめざして、法人主導から官民共同の取組へ

- 長岡駅を中心とするエリアに、13カ所のサポートセンターを設置
- サポートセンターごとに、住まい・医療・介護・予防・生活支援などのサービスを組み合わせ、一体的に提供

市の委託による地域包括支援センター（2カ所）、地域密着型特養、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、高齢者向け住宅、配食サービス、地域交流スペースなどの保険外サービス等



世代間交流や居場所づくり

## ～取組の概要～ 平成14年度より開始

### 取組の経緯

(実施主体) 長岡市、(社福) 長岡福祉協会

(背景・地域の課題)

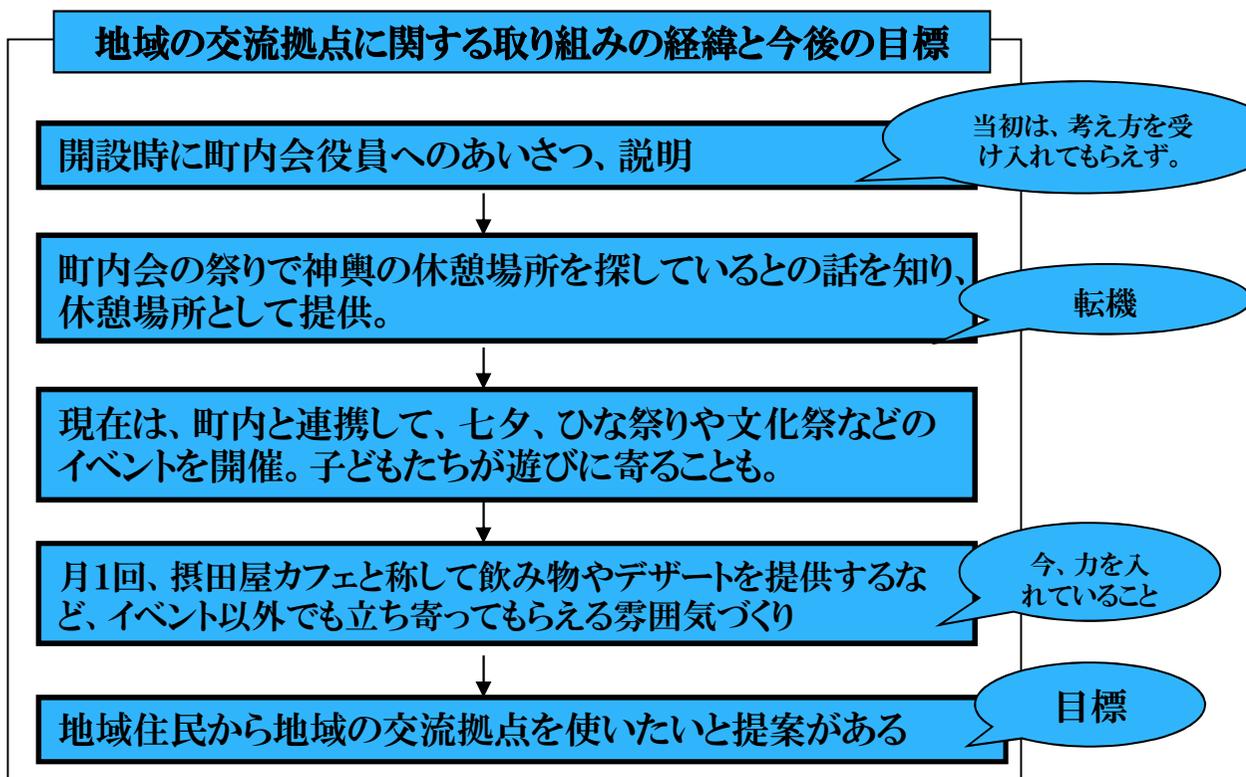
- 平成14年 社会福祉法人長岡福祉協会は、バリアフリーの住環境と、24時間連続した看護・介護・入浴・食事等のサービスを「今までの暮らしの中」において小地域完結型で提供できる集合体をめざし、独自に「サポートセンター」を設立
- 平成16年 自法人以外の民間事業者との協働によるサポートセンターを設置  
長岡市役所の支援による民間の高齢者向け住宅を併設し、多様なニーズに対応したサービス提供により、地域生活の継続を支援
- 以降、行政、医療機関、介護サービス事業者、民間事業者と連携し、一体的なサービス提供のための基盤整備を行い、13カ所のサポートセンターを設置
- 地元住民の理解を得るための創意工夫もなされている

(取組のポイント)

- 施設でも自宅でもない新たな在宅介護として、多様な生活スタイルやニーズに対応するためのサービス提供体制を官民協働で整備  
⇒小地域完結型のサポートセンター
- 地元町内会と事業所が連携して行事を開催し、住民との信頼関係を構築
- 今後介護サービスを利用することとなる団塊の世代向けの雰囲気づくり

## 小規模多機能型居宅介護施設における交流スペースの取組事例

- 小規模多機能型居宅介護事業所が地域に開かれたものとなるよう取り組みを進めてきたが、当初は地元町内会の理解を得られなかった。
- 町内の祭りの際に、事業所を休憩場所として提供したことを契機に、事業所のイベントに住民が参加するなど、地域との交流が生まれている。



### 取組に係る財源

- 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 6,296千円
- 地域介護・福祉空間整備推進交付金 3,000千円

## 取組に必要なネットワーク

- 介護サービス事業所、医療機関等
- 民間事業者（配食、生活支援等）
- 地元住民（町内会等）



## 取組の効果

- 子どもから大人まで、事業所に対する地域住民の理解が得られた。
- 町内会の役員会を交流拠点で開催するなど、町内会との関係ができた。
- 子どもたちが自然と遊びに立ち寄れる身近な場所となった



## 今後の展望

- 地元住民側から積極的に事業所を使用したいという提案をしてもらえるような関係づくりを行う。
- 将来的には、老人福祉センターの娯楽室用のように来館者が自由に使える場を目指す。

# 地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例 ～鳥取県南部町の取組～

既存資源を活用した共同住宅に  
よる低所得者の住まいの確保

# ～自治体の概要～

## 鳥取県南部町

### ●地域概況

鳥取県西部に位置する南部町は、平成16年10月1日、西伯郡西伯町と西伯郡会見町が合併して誕生。

町の南側に平地・丘陵地が広がり、水田地帯と町の特産物である柿・梨・いちじくなどの樹園地が形成。

●人口 11,568人

### ●高齢化率

65歳以上 31.05%

75歳以上 17.57%



特産品の富有柿と二十世紀梨

# 鳥取型地域生活支援システムモデル事業(地域コミュニティホーム)

## 背景

- 独居高齢者等の増加
- 介護サービス等を利用すると地域のつながりが希薄化
- 年金受給額が低い

□高齢者、障がい者等が、地域住民とのつながりの中で、可能な限り地域で暮らせる住まいをモデル事業として実施

## 概要

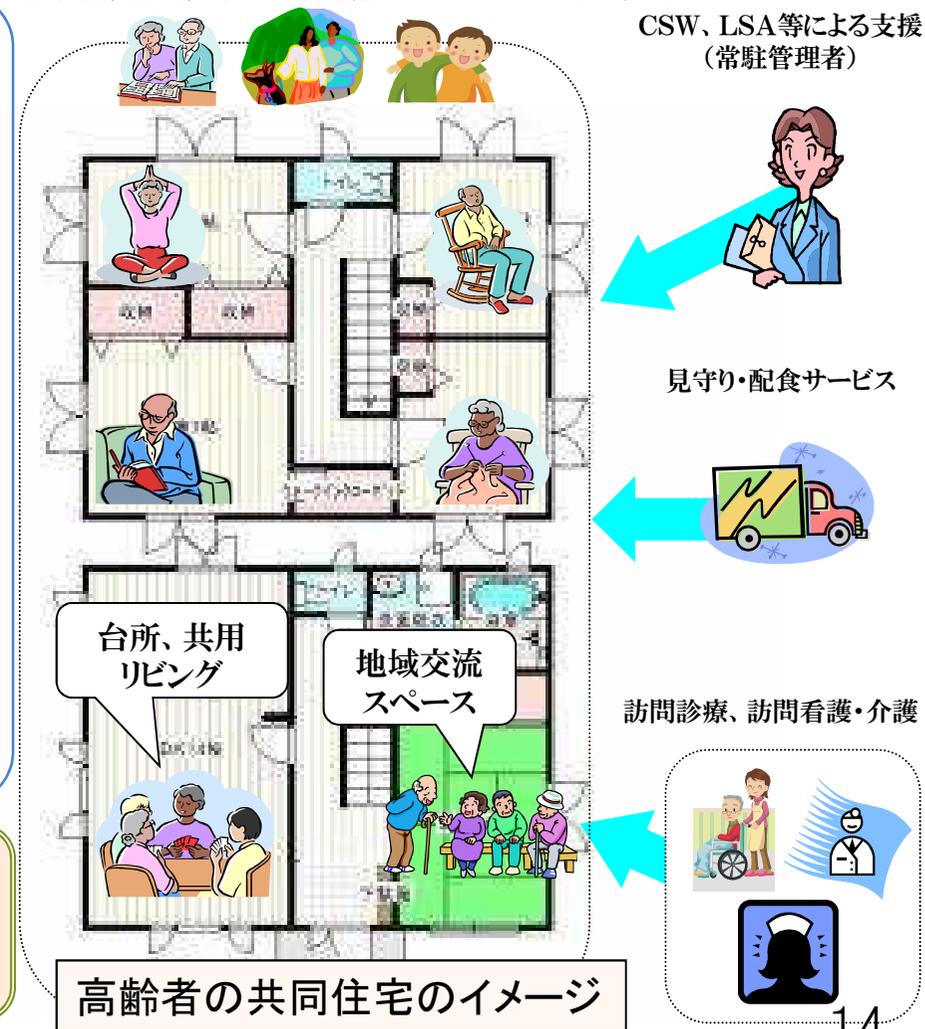
- 【実施主体】 南部町東西町地域振興協議会
- 【事業費】 施設改修費10,000千円
- 【補助率】 市町村1/3、県2/3
- 【補助対象】 施設改修費 10,000千円/施設  
運営費 2,000千円/施設
- 【実施期間】 H24~H26(3年間)
- 【事業概要】

- 既存の民家・公的施設等を改修
- 地域住民が必要に応じて、見守り、食事の提供など生活支援サービスを提供
- 医療、介護サービスは、訪問診療、訪問介護など外部から必要な時に提供
- 利用者負担を可能な限り安価に抑える

『在宅』の持つ地域の人間関係維持、低額の側面、『施設』の持つ安心感の提供など、両者の良さを併せ持つ『**第三の住まい**』のあり方を提供。

地域住民組織等による運営(ボランティア等で支援)

CSW、LSA等による支援  
(常駐管理者)



# ～取組の概要～ 平成24年度より開始

## 取組の経緯

(実施主体) 住民組織 (行政は事業化・運営を支援)

(背景・地域の課題)

①団塊世代の高齢化により、一人暮らしや閉じこもりがちな高齢者が増加

②町内に介護が必要な高齢者の住まいが特養と介護療養型医療施設しかなく、軽度の方や低所得者の方向けの住まいが地域に不足

⇒地域の中での住まい・居場所づくりに向け、地域住民主体で取組がスタートし、行政が実現に向けた取組を支援

(取組のポイント)

- 低所得高齢者等の住まいの確保、地域交流・共同生活による安心
- 既存資源の活用による事業費の効率化
- 地域住民による生活支援、LSAによる随時の相談体制
- 外部の医療機関、介護サービス事業所との連携

## 取組に係る財源

地域住民の取組に合ったモデル事業を南部町がマッチング

- 補助率 市町村 1 / 3、県 2 / 3
- 補助対象 施設改修費 10,000千円 / 施設  
運営費 2,000千円 / 施設
- 家賃収入 約5～6万円程度 (予定)



平成25年6月立ち上げ

## 取組に必要なネットワーク・社会資源

- LSA（ライフサポートアドバイザー）
- 医療機関、介護サービス事業所との連携体制
- ボランティア（配食、見守り等）＜町内ヘルパー研修受講者を活用＞
- 空き家

現在、週3回程度の  
サロン活動を実施



地域交流スペースの  
利用風景

## 取組の効果

- 空き家を借り受け、改修することで、人件費、家賃を抑え、低所得者にも利用しやすい料金設定ができたため、年金暮らしの方にも利用しやすい。
- 地域交流スペースを設け、共同生活をするすることで、これまで独居であった方も安心感が得られる。
- LSAによる支援体制のコーディネートを行い、必要に応じて共助の医療・介護サービスや互助の配食・見守りサービス等の生活支援を提供。

## 今後の展望

- 利用者には、自分の家の延長として利用してもらうことで、安心感を醸成しながら、将来的にも住まいとして活用していただく。
- 事業を積極的にPRして利用者を増加させ、将来的には面的な整備を進めていく。
- 面的な整備に向けて、住民ボランティアや空き家の確保に加え、希望者への普及啓発が課題。

# 地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例 ～千葉県柏市の取組～

行政と医師会の協働による  
在宅医療の推進と医療介護連携

# ～自治体の概要～

## 千葉県柏市

### ●地域概況

千葉県の北西部に位置する柏市は、下総台地を中心として市街地や里山を形成する都心のベッドタウン。

また、つくばエクスプレス等鉄道3路線が通るとともに、手賀沼などの自然環境、手賀の丘公園やあけぼの山農業公園などの緑にも恵まれ、都会の街並みと自然の豊かさが調和。

●人口 404,949人

### ●高齢化率

65歳以上 21.86%

75歳以上 9.03%



あけぼの山農業公園



つくばエクスプレス



手賀沼



手賀の丘公園  
(じゃぶじゃぶ池)

# 柏市における在宅医療推進の取り組み

在宅医療を推進するため、行政（柏市）が事務局となり、医師会をはじめとした関係者と話し合う体制を構築し、関係作りとルール作りを行う。

## ＜推進体制＞



## ＜在宅医療を推進するための取り組み＞

- ① 在宅医療従事者の負担軽減の支援（主治医・副主治医システムの構築，医療・看護・介護の連携体制の確立，情報共有システム等）
- ② 効率的な医療提供のための多職種連携（在宅医療チームのコーディネート，在宅医療を行う診療所・訪問看護の充実）
- ③ 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
- ④ 在宅医療に従事する人材育成（在宅医療研修の実施）
- ⑤ 上記を実現するための地域医療拠点の整備



# ～取組の概要～ 平成21年度より開始

## 取組の経緯

(実施主体) 柏市(東京大学、UR都市機構との共同研究)

(背景・地域の課題)

● 都心のベッドタウンである柏市は、今後の急速な都市部の高齢化を見据えて、市が主導して産学官が一体となり「柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会」を発足。研究会を重ね、市民向けシンポジウムを開催し、平成22年に三者協定を締結。

- ・ 将来、高齢化が急速に進行(20年後には75歳以上人口が、2.17倍に急増(2010年約3万人→2030年約7万人))
- ・ 独居高齢者、高齢夫婦のみの世帯の増加(20年後には約1.5倍)
- ・ 75歳以上人口の増加に伴い、今後は在宅における訪問診療に対するニーズが増加

(取組のポイント)

- 行政が中心となって、多職種(医師会等)と連携し、在宅医療を推進。
- 医療・看護・介護の関係団体が、多職種連携のルール作りなどについて議論するために会議を開催し、関係作りやルール作りを進め、高齢化が進行する将来においても住民が住み慣れた地域で暮らせることを推進。
- 以下の取組みを推進
  - ・ 在宅医療従事者の負担軽減の支援
  - ・ 効率的な医療提供のための多職種連携
  - ・ 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
  - ・ 在宅医療に従事する人材育成(在宅医療研修の実施)
  - ・ 上記を実現するための地域医療拠点の整備

## 取組に係る財源

平成24年度在宅医療連携拠点事業補助金

●補助額 6,348千円(事業運営に関する経費) (補助率 国10/10)

20



## 取組に必要なネットワーク

- 医師会、歯科医師会、薬剤師会
- 病院関係者
- 訪問看護連絡会
- 介護支援専門員協議会
- 地域包括支援センター
- 在宅リハビリテーション連絡会
- 在宅栄養士会
- 東京大学高齢社会総合研究機構、UR都市機構

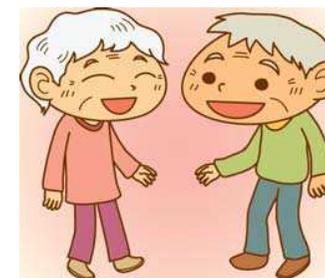


医療・看護・介護の関係団体が集まる連携WGの様子

## 取組の効果

- 医療・看護・介護をトータルで提供することにより、住み慣れた我が家にて、ずっと暮らすことができる。
- 多職種団体が参加することにより、効果的に関係作りやルール作りを行うことができる。  
(「点」ではなく「面」としての事業展開)
- 関連団体との連携により、住民に対しても在宅医療に関する啓発が推進。

- ・ 主治医一副主治医制試行症例：22症例
- ・ 在宅医療研修受講者：50名
- ・ 市民啓発：約1,600名                      等                      ※すべて平成24年度実績



## 今後の展望

- 市内全域における「主治医一副主治医システム」の体制整備と多職種連携  
ルールの確立

※主治医・副主治医システム…主治医（患者を主に訪問診療する医師）と副主治医（主治医が訪問診療できない時の訪問診療を補完する医師）とが相互に協力して患者に訪問診療を提供するシステムであり、医師の負担軽減を図るもの